
国際保健論

森岡 郁晴 教授
齋藤 真希 講師
中村 安秀 非常勤講師
柳澤 沙也子 非常勤講師

4 年次後期・必修

1 単位・15 時間

【概要・目的】

本科目は、国際的な保健状況を理解し、グローバルな視点で活躍できることを目的とする。また、医療や保健、文化社会の多様性を理解し、健康課題を広い視野で考え、改めて日本の医療や保健の仕組みを考える機会とする。

【概要・目標】

- 1) 国際的な保健状況や医療活動の基礎的知識を修得する。
 - 2) 日本国内における医療・看護の国際化を理解する。
 - 3) 国際的な母子保健や高齢者の状況についての基礎知識を修得する。
 - 4) 海外での青年海外協力隊の活動や人道支援を説明できる。
-

【内容・スケジュール】

1. 国際保健の概要、国際理解
2. 日本の国際協力活動
3. 在日外国人・訪日外国人への医療・看護
4. 看護師それぞれの国際化
5. 母子保健・リプロダクティブヘルス（世界に広がる母子手帳）
6. 緊急人道支援（世界から学ぶ支援の国際標準）
7. 国際保健活動の実際（青年海外協力隊）
8. アジアの高齢者保健

(担当)

森岡
森岡
齋藤
齋藤
中村
中村
柳澤
柳澤

【評価】

試験（80%）、レポート（20%）

【教科書】

指定なし

【推薦参考図書】

国際保健医療学第3版杏林書院 2013

『海をわたった母子手帳』（中村安秀著：旬報社）2021年9月

【その他】